

スポーツイベント(自主事業等を含む)開催・実施」時の 感染防止策チェックリスト (主催者向け) ガイドライン ver.6 用

※「スポーツイベント(自主事業等を含む)」は、以下「イベント」と表記。

記載日：令和 年 月 日

主催者(事業主体)	
事業名(イベント名)	
事業日(イベント日)	令和 年 月 日() ~ 令和 年 月 日()

◆イベントの参加募集時の対応

1) 参加者への確認事項(募集要項や申込書等への記載をし、同意を得る形をとること)

参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること。

- 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる場合
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

2) 参加者への依頼事項(募集要項や申込書へ記載をし、周知すること)

- マスクを持参すること(参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること)。*
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 参加者間、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2mを目安に(最低1m))を確保すること(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)。
- イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守するとともに、主催者の指示に従うこと。
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告させること。その際、主催者は濃厚接触者の有無等を把握すること。

◆当日の参加受付時の対応

- 受付窓口には、手指消毒剤を設置し、アルコール等での手指消毒を促すこと。
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は参加しないように、張り紙などにより注意を促すこと。(状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる)。
- 参加者が距離を置いて(できるだけ2mを目安に(最低1m))並べるように目印の設置等を行うこと。
- 受付を行うスタッフには、マスク(※)を着用させること。
(※)視覚障害を持つ方への対応をする場合等は、フェイスシールド等の着用も考えること。
- 当日の受付を簡素化できるような配慮を行い、混雑を極力避けること。
- 厚生労働省の「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」(※)及び「新型コロナ対策パーソナルサポート(もしサポ岩手)」の周知を図り、利用を促すこと。(※)COCOAを入れている場合は、電源を on にした上で Bluetooth を有効にすること。
- 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めこと。*

- 氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号)これらの事項は、事前予約時に登録を求めるとも考えること。
※個人情報の取扱いに十分注意すること。
- 利用当日の体温
- 利用前2週間における以下の事項の有無

<input type="checkbox"/> 平熱を超える発熱	<input type="checkbox"/> 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
<input type="checkbox"/> だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)	<input type="checkbox"/> 嗅覚や味覚の異常
<input type="checkbox"/> 体が重く感じる、疲れやすい等	<input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
<input type="checkbox"/> 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる	
<input type="checkbox"/> 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある	

※ 個人情報の把握に努め、保存期間(少なくとも1か月以上)を定めて保存しておくこと。

◆イベント参加者への対応(当日、受付時などに参加者に対して確認を行う)

□ マスク等の準備

- 参加者がマスクを準備しているか確認すること。
- 運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとするものの、参加者の受付、着替え、表彰式等の運動・スポーツを行っていない間、特に会話をする時には、基本的にマスクの着用を求めると。^{*1}

□ イベント参加前後の留意事項

- イベントの前後のミーティング等においても、密閉、密集、密接を回避すること。
- 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること。

◆主催者が準備・配慮すべき事項

□ 身体的距離(社会的距離)の確保

- 待機場所や休憩場所では、少数グループ(家族等)ごとにできるだけ2m(最低1m)空けるよう、参加者同士の身体的距離(社会的距離)の確保に努めること。
- 主催者はできるだけ2m(最低1m以上)空けて接客及び業務を行うこと。ただし、安全上・指導上等、接近する必要がある場合は、マスクまたはフェイスシールドの着用に加え、できる限り距離を空けて発声するなど、留意して業務を行うこと。

□ スポーツ用具の管理

- 共用するスポーツ用具については、使用前後に消毒すること。
- スポーツ用具の貸出を行う場合は、貸出を行った利用者を特定できる工夫をすること。

□ 飲食物の提供時

- 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること。
- 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること。
- 利用者が密な状態になるおそれがある場合は、提供場所への入場制限を行うこと。

□ 観客の管理

- 観客も参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとること。
- 大声での声援を送らないことや、会場内では基本的にマスクを着用すること等の留意事項を周知すること。
- 大会等の場合、選手と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じること。
- 大規模なイベントが開催される場合は、入退場時の密集回避(時間差入場等)を行うこと。

□ イベント会場

- イベントを室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと。
- 換気設備を適切に運転すること。
- 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと。
- 寒冷な場面では室温が下がらない範囲で常時窓開けすること。
- 乾燥する場面では湿度40%以上を目安に加湿することが望ましいこと。

□ ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること。
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること。

□ スタッフの管理等

- 発熱又は風邪等の症状が見られるスタッフについては、出勤を自粛すること。
- ユニフォームや衣服はこまめに洗濯すること。

□ 接触確認アプリ等の利用促進

- 厚生労働省の「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」及び岩手県の「新型コロナウイルス対策パーソナルサポート(もしサポ岩手)」の周知を図り、利用を促すこと。

◆参加者が運動・スポーツを行う際の留意点

□ 十分な距離の確保

- 運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離^{*3}を空けること(介助者や誘導者の必要な場合を除く)。
- 強度が高い運動・スポーツの場合は、呼吸が激しくなるため、より一層距離を空けること。

□ 位置取り

- 走る・歩くイベントにおいては、前の人の呼気の影響をさけるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること。

□ その他

- タオルの共用はしないこと。

- ※1 夏期の気温・湿度が高い時期において、屋外で人と十分な距離(2m以上)が確保できる場合は、マスクを外すことも可能とする。
- ※2 フェスティバル等、人数管理が困難な事業(参加者の特定が困難な事業)については、例えば、発熱や感冒症状がある者の参加自粛、密閉・密集・密接の回避、手指消毒、マスクの着用等、適切な感染防止策を講じることを呼びかけること。
- ※3 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。

◆その他、具体的な対策があれば記載